

凡 例

一本書は景印太白山史庫本李朝實錄に就いて、明代の滿洲並に蒙古に關する記載を抄録編纂したものである。

一明代の滿洲蒙古に關する同實錄の記事は、廣きに從つて、概ね細大漏らさなかつた。たゞし蒙古及び蒙古民族に關する記事は極めて少いので特に編を分つことをしない。

一凡そ明代の滿洲及び其の周邊に於ける滿洲民族の活動事蹟、社會習俗等を傳える記事は、これを網羅し、交うるに李朝と明朝の女眞民族に對する政治・軍事・經濟上の施策と施設とを傳える記事、並に遼東と朝鮮との交渉に關する事項を以てした。そうしてこのような事項のうち、専ら朝鮮自體に關するものは、特に首に〔參〕字を冠して參考に資する意を示し、且つ活字の大きさを落して滿洲本位の記事との區

別を明かにした。

一索引一卷を添えて人名地名の検索に便した。

一原本異字俗字頗る多く、其の體も一二に止まらぬが、それは専ら印成の際、新舊の鑄字を混淆併用した事實に本づくものであつて、格別重きを置くに當らぬと考えられるから、力めて常識的に處理した。

イ俗字異字の多くは、正字に改めた。たゞし時に原本の舊に従つたものもある。

ロ正俗二體以上を併用するものは、原則として正字を以て統一貫した。潜潜潜潜を潜で統一した如き。たゞし原本の舊を存したのものもある。

ハ俗字異字を以て一貫しているものは、原則としてこれを蹈襲した。賛歟の如き。たゞし例外もある。

一原本に於いて、明かに誤字・脱字・衍字・倒錯と認められるものは、そのま

まこれを蹈襲し、傍にこれが校訂正誤を施した。たゞそれを疑問の體に取り扱かつたのは、編者の慎重と謙讓から、獨斷と見られることを避けたかつたからである。なお不用意の誤植か、意識した慣用(普通を含む)かに、わかに決し難いものには、傍に(マ、)を附した。

一 記事の係けられた干支(日次)を掲出するのに、次の三様の區別を設けて、正しく原本の體を傳えるように力めた。

イ〇干支〔本文〕

これは原本のまゝである。即ち原本に於いて、記事の首に干支を掲出してゐる場合である。

ロ干支〇〔本文〕

これは原本に於いて、記事の首に干支を掲出してはいないが、その係けられた干支が明瞭な場合である。即ち先行する記事の首に掲出してある干支と、後續する記事の干支との間に、日次の間隙の

ない時には、これらの干支の間に収載される記事は、總べて先行の干支に係けられたものと考えてよい。

ハ 干支先行——干支後續 ○〔本文〕

これは原本に於いて、(ロ)と同じく記事の首に干支を掲げず、且つその係けらるべき干支に疑問の餘地のある場合である。即ち先行干支と後續干支との間に、日次の間隙のある時は、これらの干支の間に収載された記事の係けられるべき干支は、一應疑問とするを慎重と考え、特に(ロ)と區別して原本の體を存した。

ニ なお同一の干支に係けられる二つ以上の記事に於いては、原則として干支を繰返ささない。たゞし(イ)の場合には、特に其の次の記事にだけ同じ干支を掲げて、干支○〔本文〕とした。

一本冊の校正には山根幸夫、宇都木章兩氏が當つた。

目次

世祖實錄

世祖六年(天順四年).....	一
世祖七年(天順五年).....	一五〇
世祖八年(天順六年).....	二六〇
世祖九年(天順七年).....	三〇三
世祖十年(天順八年).....	三三三
世祖十一年(成化元年).....	三七七
世祖十二年(成化二年).....	四二八
世祖十三年(成化三年).....	四七三

世祖實錄 卷十九

六年正月

○己卯朔行望闕禮御勤政殿受朝賀仍設宴宗親宰樞承旨等入侍倭人迎酒毛野人阿羅哈等三十一人亦侍召阿羅哈諭誅浪卜

兒罕事由仍命阿羅哈迎毛酒等進酒令起舞

(酒毛力) 略下

○甲申幸慕華館觀射放火砲宗親議政府六曹參判以上承旨等入侍引見倭野人令野人尼麻車兀狄哈郁時應巨幹朶里馬千里等射侯射毛毬賜中的野人各綿布一匹弓一張又賜倭人迎酒毛虎皮一張紬布寢席等物

乙酉○火刺溫指揮照麟可等五人來獻土物

〔參〕○己丑遣戶曹參議李孝長如大明進海青二連奏曰(中略)竊念臣特荷聖

恩嗣守先業恪謹職貢凡干進獻靡不盡心每年委差的當人分遣各道多方設械儘力打捕海青然非本土所產乃北方野人深遠地面巢養出來共多少隨歲不等緣此近年所獲不敷（下略）

己丑○咸吉道敬差官康孝文馳啓速魯帖木兒實無可疑東良等處孛兒罕族親野人亦連贖來謁云孛兒罕之罪罪止一身不緣及族類我等已知國家之意阿比車亦有來投之意將家奴能彎強弓阿比車亦推以爲首今願上京侍衛御札諭楊汀曰今見康孝文書知卿布置得宜東良北之人來往會寧且有上京者可知彼人漸解疑惑矣阿比車亦有來投之勢旣以不問誘之使來來而殺之是失信也彼他日誰肯信我者今阿比車自來則語之曰上初以汝年少不與父事特命勿問尋聞汝逃逸乃命汝若不識寬貸之恩猶懷作逆則捕而罪之若自來則赦其罪使之安業若捕來則囚之啓達兀

婁哈之子將家奴如欲上京可上送當試用之速魯帖木兒既無可疑之迹更不可探候聞見反生自疑凡待彼人當以信義寧失罪人不宜詭道誘致卿體予意

○庚寅上問承政院曰火刺溫及深處野人如或欲來朝姑托辭使之勿來如何都承旨尹子雲啓今聞有野人十餘名出來今此野人回去時使諭以今春早暖易生疾病待冬月出來可也

○甲午御思政殿設飲福宴宗親議政府六曹參議以上承旨及諸獻官執事野人等入侍命野人金伐大浪婁時哈等進酒謂諸野人曰爾等雖不各進酒飲此則均飲爾等酒也親割所御西瓜賜左右別雲劔韓明澮具致寬等分賜大肉于左右宰樞及野人

○丙申御慶會樓下觀射宗親宰樞六曹參判以上承旨諸將等入侍引見野人金伐大等二十五人命武士與之射侯火刺溫照麟可

中的賜綵段衣弓矢其餘中的者各賜綿布弓令金伐大浪婁時哈等進酒謂婁時哈曰今此射者非朝官皆是材官也爾部落有能射者送之則亦與此輩一體待之對曰小人有子能射當送矣然則他有材者安敢不來上曰予得善射者固無所用但愛其有材者耳諸宰與野人等出命留宗親及領議政姜孟卿左議政申叔舟領中樞院事洪達孫兵曹判書韓明澮等極歡乃罷

○癸卯御忠順堂觀射宗親宰樞及承旨等入侍引見野人中樞浪婁時哈等十四人命射侯其中的者賜物有差命尹士昉士昉士昕成奉祖魚孝瞻及野人金波乙大進酒是日浪婁時哈等辭命饋之仍別賜浪婁時哈金波乙大等鞍具馬各一匹紅絲帶綵囊刀子各一其餘十三人紅絲帶綵囊刀子各一

癸卯○諭咸吉道都節制使楊汀曰會寧住速魯帖木兒病羸不能

自朝使人來致誠款可辦宴令於乙丑就賜其家

丙午○咸吉道都節制使楊汀馳啓伐引住兀良哈大護軍金這比冬哈來告阿比車請兵千餘屯于斜地今正月二十日間入寇會寧幹朶里浪金世李阿伊打哈來告何伊亂住兀良哈兒哥乃來言阿比車言會寧今囚林高古等九人又上京侍衛者浪三波金當李阿豆童阿陽可亦皆被殺今欲請兵以寇會寧臣率營兵及鏡城富寧兵到會寧見兵凡七百餘人分爲三衛以會寧節制使金師禹將中衛都鎮撫趙繼宗將左衛會寧判官申興禮將右衛以待阿比車聚諸種一千五百餘人正月二十日來屯會寧長城外毀木寨而入臣出兵與戰殺賊二十餘人賊退屯速魯帖木兒家前臣還守會寧賊夜焚長城門毀木寨翼日賊分道而入臣更率三衛力戰賊退走追至古堡兒下距會寧三十餘里而還殺賊五十餘級賊多棄牛馬器

仗而走我軍中箭死者四人又啓會寧之戰會寧阿木河斡朶里馬仇晉波等十六人初附賊見賊敗北乃率妻子來投自言爲賊所賣臣令囚于會寧府又高嶺城底兀弄草斡朶里皆棄家逃散請前此到京野人留之在道者令所在邑囚之

○以司憲掌令李繼孫爲咸吉道敬差官宣慰諸將御札諭楊汀曰卿可謂報予恩遇矣予可謂能用賢矣以寡制衆決勝逐北威振朔方來進首級可謂公侯干城矣今遣掌令李繼孫賜卿宴慰就賜卿三表裏弓矢又賜都鎮撫趙繼宗經歷金好仁會寧節制使金師禹判官申興禮各一表裏略表予喜意論功行賞當待卿報今送綿布百匹勿論彼我任卿姑先給賞以勵其心繼孫賫去事目一若見馬千里等斡朶里宣旨語之曰阿比車雖孖兒罕之子而幼且無所犯故予特赦之今聞阿比車妄言煽動相誘聚會入寇會寧予猶憐斡

朶里兀良哈等無知求生而招死自阿比車外(マ)賚從者一皆不問如有能捕阿比車以來者當重賞汝等今來朝見親聞予意具知事狀可往諭諸種使明知國家之意安心復業雖(マ)賚從黨賊者予恕其勢不得已尙且宥之況恐懼逃遁者乎萬一汝之家小有從賊者汝所不知汝勿恐予若過汝者何不卽殺之於路中乎汝若捕阿比車若使諸種解惑者予之嘉賞後日當知惟勿急速徐徐效力時馬千里還途一戰士傷者救療死者官爲收葬致祭賻本家各米五石布五匹依例復戶一交戰時將士功勞與楊汀同議等第一兀良哈斡朶里往來告變者與楊汀同議等第一野人不與於戰按堵如舊者與楊汀同議論賞一馬仇音波等告變誠實初雖從賊後乃來投是勢不得已(マ)賚從者也其速放之待之如舊其餘(マ)賚從亦皆盡赦一兀弄草斡朶里等空家逃散是必驚懼登山耳慮有軍士等乘其家空或撒取材

木或竊其財產嚴令禁護諭以赦其驚散(マ、)資從之意隨其還來使之安居見鍾城近居柳尙冬哈等穩城李波兒是等慶源金管婁等諭以赦其驚散(マ、)資從只購阿比車之意一童速魯帖木兒必是(マ、)資從驚恐耳其空家亦宜禁護徐使諭之來則安接撫之如舊一若見柳尙冬哈則宣旨云今會寧近處兀良哈斡朶里等不能無惑於阿比車所誘予憐其愚惑(マ、)資從耳已皆赦之不問汝則深知予意予所倚信汝其廣諭予意於諸種使之轉禍爲福且捕告阿比車以立大功予且聞爾亦登山是何意耶汝受我恩非他比也親受我教亦非他比也汝不知則誰知之汝其用力探知阿比車所爲以告一誘諸種野人曰阿比車誘汝等必以會寧兵馬寡弱易當民居可掠且我亡則次及汝爲辭耳汝等陷於阿比車淺謀有何利乎(祗力)祇取禍耳汝應知之毋執迷轉福爲福可也一若事勢與所聞不同則聽楊汀所言事

事隨宜施行不必拘

○丁未諭平安道觀察使曹孝門都節制使黃石生曰浪李兒罕子阿比車請兵于諸種野人入寇會寧再戰皆敗北而走賊不得志於此慮恐移犯本道邊境卿知此意告諭邊將密爲隄備務要盡殲不可騷擾

丁未○東良北住寧舍爲本處副萬戶

○諭咸吉道觀察使鄭軾都節制使楊汀曰今兀良哈斡朶里等雖與阿比車等同謀寇會寧其來朝效順者不可於歸程拘留當語之曰雖汝等家人子弟與賊非汝等所知若汝等在必止之汝知此意告諭同類

○以速平住阿刺哈爲本處都萬戶

六年二月

己酉○咸吉道都節制使楊汀馳啓野人聲息命召姜孟卿申叔舟朴從愚具致寬洪允成金磧承旨等入內議事令出就賓廳抄助戰軍士以啓

○庚戌御忠順堂觀射仍設酌引見野人李家紅李肖陽介郎都良哈召領議政姜孟卿左議政申叔舟領中樞院事洪達孫禮曹判書洪允成兵曹參判金磧承旨等議事命以允成爲咸吉道助戰元帥兵曹參議林得楨爲都鎮撫崔清江爲從事官率部將四人壯士五十人及本道甲士番上者五十人赴會寧鎮聽楊汀節度特賜允成內廐鞍具馬一匹其鞍有金畫龍朱紅粘紅毛前後榮之飾

庚戌○諭黃海平安道都體察使韓明滄曰浪孛兒罕子阿比車煽誘諸種野人聚千餘兵毀長城入抵會寧城下再戰敗走斬首五十級賊猶不懲諸種屯聚出沒不已平安道邊堡之完固甲兵之堅利

皆不如咸吉且攻其無備出其不意賊之常情也雖不可先自勞擾亦不可忘備卿巡審邊上量宜措置毋失事機

○辛亥正朝使先遣通事任孝連來〔略中〕孝連啓使臣出來以事干野

人祕不發傳于承政院曰今來使臣支待一依陳嘉猷王軌例〔略下〕

辛亥○御忠順堂觀射引見野人李家紅等三人上曰阿比車造爲虛說誘諸部落曰朝鮮將諸向化者盡行殺死宜爲報復乃脅令作黨爲寇爾等前此出來不知阿比車作謀矣爾當以今日所見聞說與諸種種皆爲脅從耳予不咎焉若出來當待之不疑家紅等對曰我等只以言語傳之彼或不信願受書契以歸命姜孟卿申叔舟尹子雲等草諭野人書其書曰兵曹參判金碩敬奉王旨若曰浪字兒罕父子世受國恩今乃內外相應構爲虛辭聚衆謀叛以至欲射通事因此按律科罪其子阿比車置而不問不知寬貸之恩誘引諸

種侵犯會寧其罪固大然予知彼人等率皆誑誘脅從豈其本心勢不得已耳首謀阿比車外餘皆有之使復安業有能捕阿比車以來者重賞雖阿比車能自來則亦宜赦之爾兵曹諭李家紅李肖陽哈浪都郎哈等還語諸種使知予意汝李家紅等謹悉王旨往曉彼等使遵王旨如或執迷後悔無及

○咸吉道都節制使楊汀馳啓愁州兀良哈兀歹來告柳尙冬哈柳要時老於麟哈等聞童速魯帖木兒言會寧盡殺馬仇音波等將次及斡朵里愁州之人皆驚懼登山又賊百餘騎來屯高嶺城外古刺貴洞口萬戶李存仁登城守陣以筒箭射之賊乃遁前此城底近居野人等有變則請入行城今皆越江逃院與阿比車同謀成羣竊發其勢不止今徵洪原以南之兵戍甲山北靑以北之兵戍六鎮請量送京中精勇武士兼送火炮又馳啓速魯帖木兒家人打里哈率妻